

景気回復に必要な施策は「公共事業費の増加」が最多

建設業以外からも公共投資を望む声（回答の半数以上）

- ★ 「当面の経営上の問題点（複数回答）」について、1位が「需要の停滞」の179社。2位が「大企業の進出による競争の激化」の55社。「ニーズの変化への対応」が54社で3位。
- ★ 「2012年の景気見通し」について、最も回答が多かったのが「踊り場（横ばい）」の53.6%（133社）。4割強の42.7%（106社）が「悪化する」と回答したのに対し、「回復する」と回答したのはわずか3.6%（9社）。
- ★ 「現在の雇用人員」について、79.2%（194社）が「適正」と回答。「不足」が12.7%（31社）で、「過剰」が8.2%（20社）と、前回に比べ「不足」が減り「過剰」が増えた。

平成23年10～12月期 三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査【概要】

三次商工会議所

平成24年1月に実施した第87回三次商工会議所管内（旧三次市）景況調査の結果は次のとおり。本調査は、三次商工会議所管内（旧三次市）の企業を対象に四半期ごとに実施するもので今回が87回目。市内の500事業所を抽出し、集計企業数は250社（小売業78社、卸売業29社、製造業35社、建設業62社、運輸・交通業17社、観光・サービス業29社）で回収率は50.0%。

【概況】

今期（10～12月）の調査結果を見ると、自分の事業所の状況をどう見ているかを示す業況DIは、全業種平均で▲23.9と、3ヶ月前の前回調査▲25.8から1.9ポイント改善した。業況が「かなり好転」と答えた事業所が全体の1.6%、「やや好転」が18.6%で、逆に「やや悪化」が36.4%、「かなり悪化」が7.7%だった。同様に、売上DIも6.5ポイント改善して▲18.1。採算DIについても1.1ポイント改善して▲32.7。原材料（商品）仕入価格は30.5から25.0と若干低下。

今回事業所に対し、景気が回復するためにどのような政策が必要だと思うか尋ねたところ、「公共事業費の増加」が250社中61社で最多となった。このうち、30社は建設業ではあるが、半数超の31社は建設業以外の業種であり、間接的にも公共事業が地域経済に及ぼす影響が大きく、景気回復に必要であると考えられている。続いて2位が「財政再建」の53社で、以下、「物価（デフレ）対策」（51社）、「円高対策」（50社）と続く。上位には、個々の事業所では対処困難なものに対する解決策を求める声が多く挙げられた。他方、「所得の増加」が5位（48社）となり、個人消費の抑制が景気を左右するといった見方も多い。経営努力による利益の確保、従業員の給与所得の増加はもちろんのこと、税制及び社会保障制度改革による可処分所得の増加など、いかに所得を増やし消費の活性化を図るかが課題となる。

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、業況・売上・採算などの各項目についての、判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものでなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

業況DI (好転割合) - (悪化割合)

売上DI (増加割合) - (減少割合)

採算DI (好転割合) - (悪化割合)

業況は、全業種合計で今期▲23.9。業種別では、改善幅に差があるものの運輸・交通業、観光サービス業を除く4業種で改善。しかしながら、卸売業以外は、改善幅が小さい。先行き見通しは、▲44.4と悪化傾向にあり、厳しい状況は続く。

売上は、全業種合計で今期▲18.1。業種別では、業況同様、運輸・交通業、観光サービス業を除く4業種で改善。改善と回答した事業所59社のうち、半数以上の32社が「季節的な増加」を理由として挙げており、状況が好転してきているとは言いがたい。

原材料(商品)仕入価格は、全業種合計で今期25.0。数は少ないものの、他の業種に比べ、運輸・交通業の数値が高く、燃料費等が高値で推移していると思われる。

採算は、全業種合計で今期▲33.8。業種別では、建設業、観光サービス業を除く4業種で改善。しかしながら、売上ほどの改善は見られない。理由としては、「売上単価の低下」や「売上原価の上昇」などが挙げられた。

【当面の経営上の問題点】(上位三項目・複数回答)



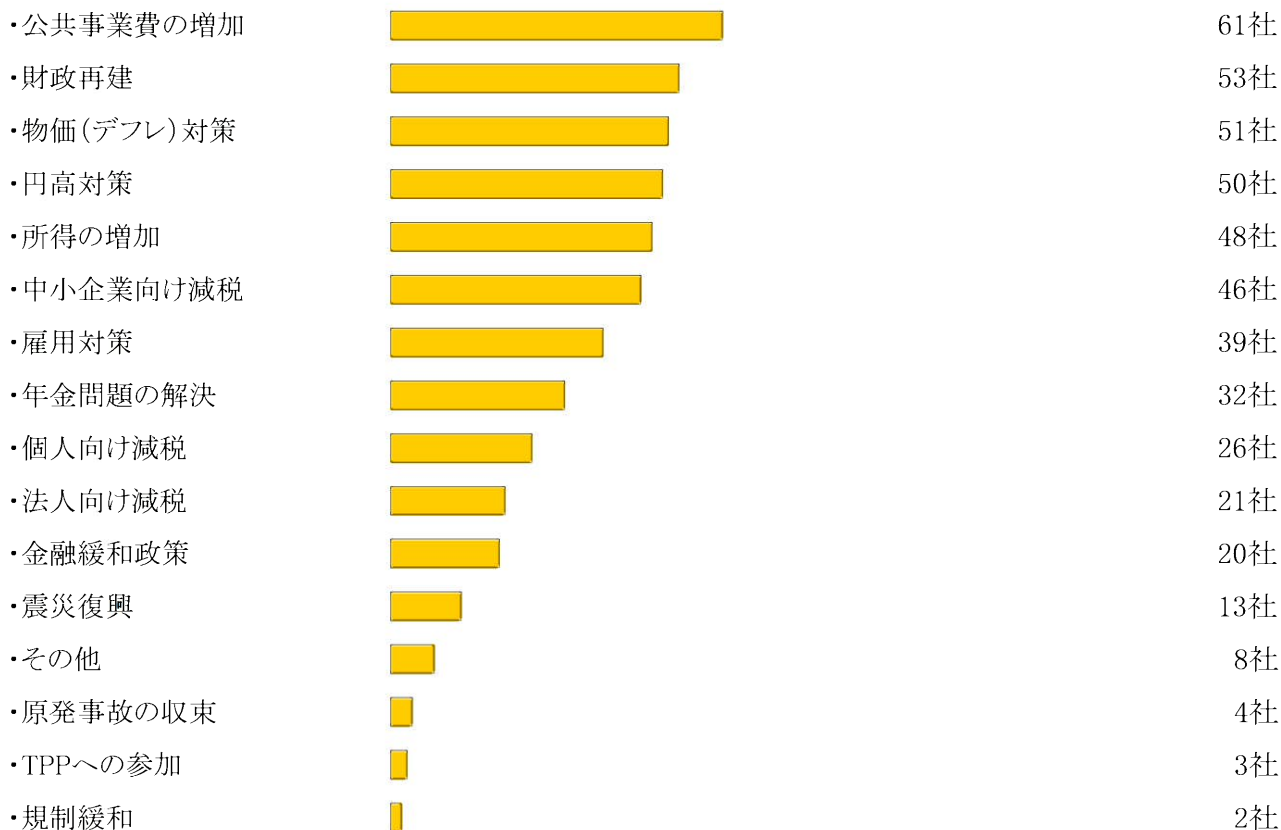
【現在の雇用人員をどのようにお考えですか？】



【2012年の景気見通しについてどのようにお考えですか？】



【今後の景気回復に必要な施策は何だとお考えですか？】(複数回答)



※百分率は有効回答数を分母として算出

【業況DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 23.9	▲ 44.4
小売業	▲ 32.5	▲ 39.5
卸売業	▲ 3.4	▲ 34.5
製造業	▲ 22.9	▲ 39.4
建設業	▲ 21.0	▲ 47.5
運輸・交通	▲ 29.4	▲ 52.9
サービス業	▲ 33.3	▲ 63.0

(好転割合－悪化割合)

【売上DI】

	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 18.1	▲ 42.6
小売業	▲ 24.4	▲ 36.0
卸売業	▲ 17.2	▲ 37.9
製造業	▲ 17.1	▲ 33.3
建設業	▲ 12.9	▲ 51.7
運輸・交通	▲ 18.8	▲ 47.1
サービス業	▲ 50.0	▲ 53.6

(増加割合－減少割合)

【採算(営業利益)DI】

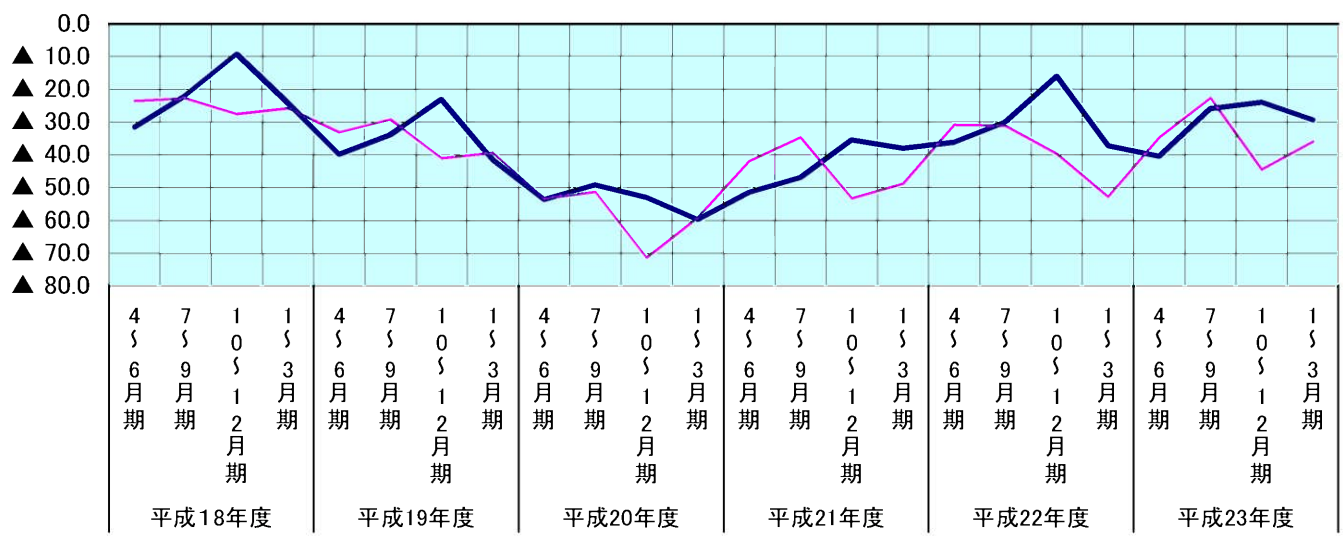
	前期に比べ	来期見通し
全業種	▲ 32.7	▲ 42.1
小売業	▲ 37.2	▲ 38.7
卸売業	▲ 17.2	▲ 31.0
製造業	▲ 17.1	▲ 21.2
建設業	▲ 38.7	▲ 53.3
運輸・交通	▲ 18.8	▲ 41.2
サービス業	▲ 50.0	▲ 64.3

(好転割合－悪化割合)

全業種

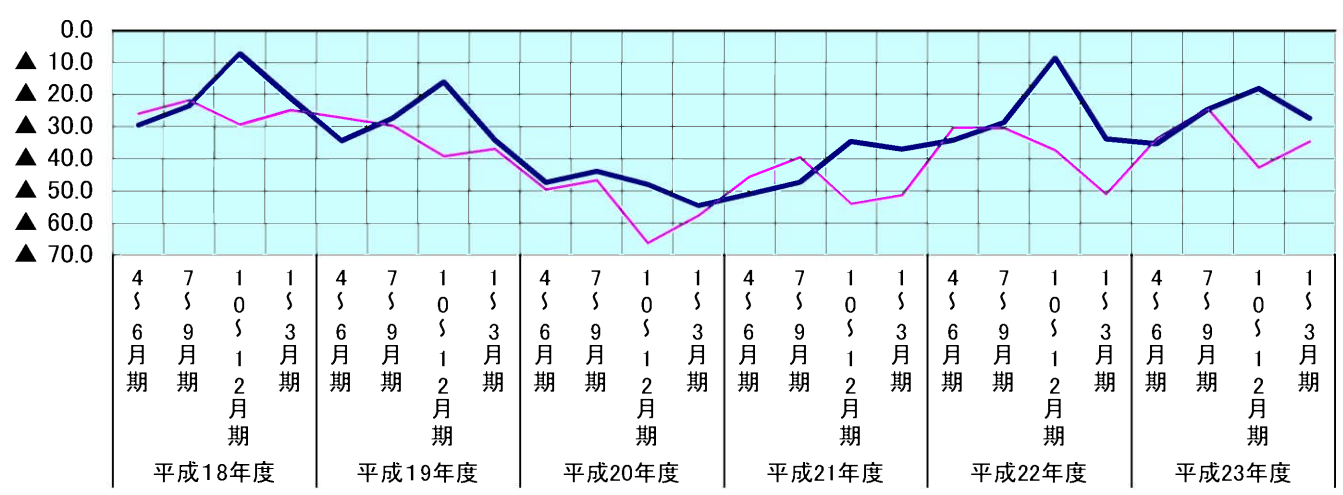
業況D.I.の推移

前期比 来期見通し



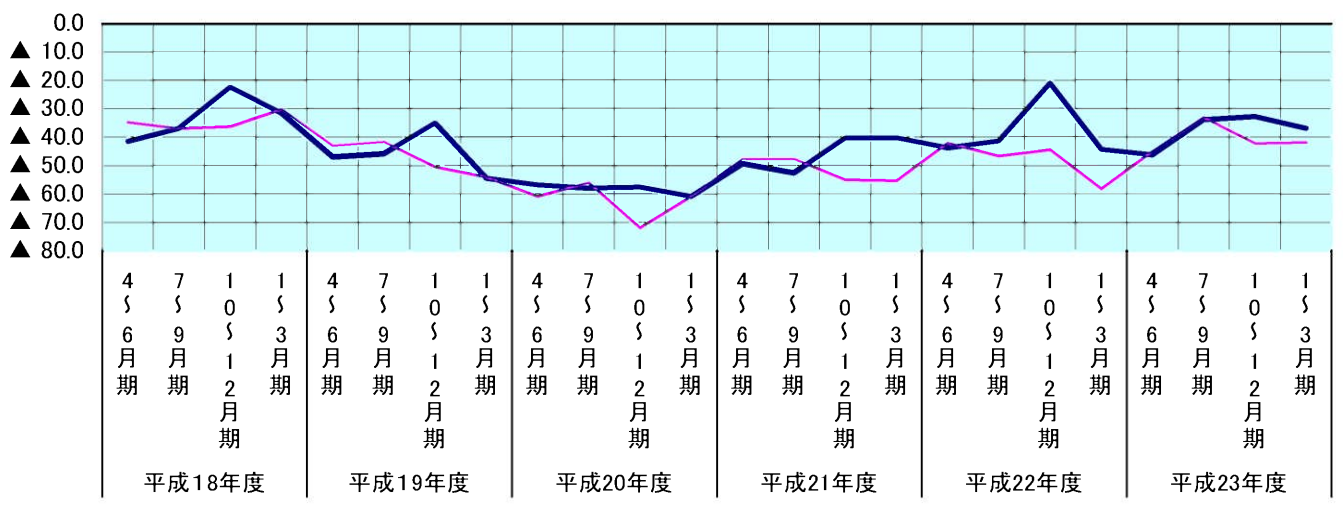
売上D.I.の推移

前期比 来期見通し





































採算D.I.の推移

前期比 来期見通し



【景気天気図】

業 種	項 目	業 況	売 上	採 算
小 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
卸 売 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
製 造 業 (工 業)	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
建 設 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
運 輸・交 通 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			
観 光 サ ー ビ ス 業	10月～12月 実 績			
	1月～3月 見 通 し			

景気天気図の説明					
					
大変良い	良い	まあまあ	少し悪い	悪い	大変悪い